

チャペル週報

No.27

2013.12.16～12.23

初めに言があった。
言は神と共にあった。
言は神であった。
この言は、初めに神と共にあった。
(ヨハネによる福音書 1:1-2)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 12月16日(月) 神 <説教学演習B> 西村 博美 (神学研究科M1)
経 音楽チャペル ハンドベルクワイア
人 海老原 桂奈子 (大阪福島教会牧師)
聖和 聖書物語「とうとうやってきた」
-
- 12月17日(火) 院 樋口 進 (宗教センター宗教主事)
神 Thomas W. Burkman (国際教育・協力センター、客員・交換教員)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 社会学部クリスマスチャペル
法 ボランティア活動報告2 宗教総部
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 クリスマスチャペル 後藤 聡 (日本基督教団梅花教会牧師)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 クリスマスを考えるチャペル
総 石田 由美子 (宝塚ワイズメンズクラブ会長)
-
- 12月18日(水) 神 神学部学生会によるページェント礼拝 (前編)
社 東日本被災地支援報告 杉浦 健 (関西学院ヒューマンサービスセンター)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 定年退職教員最終講話1 春井 久志 (経済学部教授)
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 チャペル・クリスマス・カフェ
理 音楽チャペル: ALL 讃美歌プログラム1
総 原田 千尋 (総合政策学部4年)
-
- 12月19日(木) 神 神学部学生会によるページェント礼拝 (後編)
文 クリスマス・パーティー
社 クリスマス祝会 at チャペル
法 栗林 輝夫 (宗教主事)
経 経済と倫理① 西村 智 (経済学部教授)
商 English Christmas Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 「星をめあてに」 小栗 献 (日本基督教団神戸聖愛教会牧師)
総 クリスマス特別チャペル
-
- 12月20日(金) 神 柳澤 田実 (神学部准教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済と倫理② 井口 泰 (経済学部教授)
人 樋口 進 (宗教センター宗教主事)
聖和 「クリスマスのおくりもの」 小見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 音楽チャペル: ALL 讃美歌プログラム2
-
- 12月23日(月) 神 <説教学演習B> 柳本 伸良 (神学研究科M1)
経 クリスマスを覚えて 舟木 讓 (宗教主事)
人 人間福祉学部クリスマス礼拝 木村 知樹 (西宮門戸教会牧師)
聖和 聖書物語「王さまの中の王さま」
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
12月20日(金) クリスマス (12/25) を感謝して 舟木 讓 (大学宗教主事)

クリスマス

加 藤 知

クリスマスは、ユーモアです。クリスマスのことを思うと、我知らず顔がほころび浮き浮きします。これは、神一流のユーモアに違いありません。赤ん坊に生まれて、親の世話になる子どもをまじめに体験しようとする神は、何かしらユーモラスです。生をテーマとするクリスマスは、死と復活をテーマとするイースターに比べて明るく華やかです。その分世俗化も進んでいます。これもまた神のユーモアであるように思います。ユーモアには人を引き付ける魅力があります。東方の博士ははるばる遠い道のりを旅してイエスのもとにやって来ました。人が集まれば世俗化し、普通のことになるのは避けられません。神のわざである自然の探究が世俗化して科学が生まれ、私のような普通の人が真理を探究するようになったように、クリスマスも世俗化して普通の人にその深い意味が現れてくるのかもしれない。

ユーモアは、また共感呼び起こします。人は、生まれてのち身にまとったもので、他者との違いを知り、争いに時間をついやし疲れます。みな裸で生まれてきたことを思い出すと、けっこう笑えます。クリスマスに、自分も裸で生まれ、最初に泣き、やがて笑ったことを思うと、互いの違いを受け入れて共感できる気がします。こうした共感平和への初めの一步です。

ユーモアは、日常から離れる瞬間でもあります。人が生まれるのは普通の出来事ですが、一生に一度だけですから極めて非日常的で、神が人として生まれたことは、さらに非日常的出来事です。しかも神の遊び心からか、処女降誕という頭を悩ませ、心を和ませるなぞ付きです。ここには歴史があり、スケールの大きな出来事との出会いがあります。この歴史は、現在に生きたものとならなければ、歴史のほこりと化してしまいます。ユーモアがあれば、今の瞬間は生きいきとしたものになります。みなさまが、心にユーモアをもって、クリスマスのときを迎えられることをお祈りいたします。

(理工学部長)

- 「関西学院クリスマス礼拝—音楽で祝う降誕—」西宮上ヶ原キャンパスでの開催について
1976年より中央講堂において開催してまいりました伝統あるクリスマスページェント。今年中央講堂建て替えのため高中部礼拝堂において開催されることとなりました。来年は新しい講堂での開催を予定しておりますので、この会場では今回限りとなります。是非ともご参加ください。

12月18日(水) 16:30開場 17:00開始 高中部礼拝堂

- 「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ
恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時：12月20日(金) 17:30開場 18:30開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ABCチケットセンター
／サークルK・サンクス／セブン-イレブン

- 関西学院のクリスマス関連行事

* 関西学院クリスマス礼拝 — 音楽で祝う降誕 —

12月17日(火) 18:30～ 神戸三田キャンパス VI号館101号教室

12月18日(水) 17:00～ 西宮上ヶ原キャンパス 高中部礼拝堂

12月19日(木) 18:30～ 西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

* 関西学院バロックアンサンブル・クリスマスコンサート

12月19日(木) 18:40～ 西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

* 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

12月20日(金) 18:30～ ザ・シンフォニーホール(大阪) 有料(上記記事参照)

* 関西学院聖歌隊「メサイア」コンサート

12月23日(月) 18:30～ 西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

- 夕べの祈り at ランバス ～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

第3回 1月9日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協力：関西学院宗教活動委員会

- チャペル・オルガニスト卒業演奏会

各学部チャペルをはじめ各種式典などでオルガン奏楽を務めるチャペル・オルガニストから今年、13名が関西学院大学を巣立ちます。それぞれの学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

とき：3月1日(土) 14:00～

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

- CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

- 使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手を収集しています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。